



夏休み明け

夏休みが終わり、子どもたちが学校に帰ってきました。と、思ったら明日、2日(木)から9日(木)までは、オンライン授業ということになりました。(ただし、6日(月)は地域を2グループに分けた分散登校日とします。)

タブレットを持ち帰らせ、学校と各家庭をオンラインでつないで、午前中3時間の授業を毎日行います。荒尾市のタブレットは「EIS」回線を内蔵しているもので、家庭に「EIS」環境がなくても、学校とのやり取りやネットを利用した学習ができるようになっていきます。今日、子供たちにはタブレットのつなぎ方等の指導を各学級で行っています。初めての試みで、不具合が発生するところがあるかもしれませんが、新しい学習の形に挑戦していきます。

第5波

デルタ株の感染力は凄まじく、第5波の感染者数は、これまでとは比べものにならない状況となっています。病床占有率も厳しくなっており、県独自のリスクレベルは、最高のレベル5が続いています。レベル4以上は、本人の発熱等の風邪症状だけでなく、同居家族の誰かに風邪症状があれば、登校を控えていただくことになっていきます。このリスクレベルは毎週更新されま

気を引き締めて

学校が始まる時期とデルタ株による感染拡大の時期が重なり、学校での感染防止対策もこれまで以上に厳密に行う必要があります。秋には、運動会や修学旅行など大きな行事が予定されていますので、その前に感染が広がると、行事の実施にも大きな影響が出てきます。感染状況によっては、学級閉鎖、学年閉鎖、臨時休校等の措置が必要な場合も出てきます。濃厚接触者に指定されたら、2週間の自宅待機となります。そうしないためにも、家庭と学校が連携した感染防止対策が必要です。各ご家庭では、毎朝の検温を確実に実施するようお願いいたします。また、マスクは必ず着用させてください。学校でもこまめな手洗い、鼻出しマスクやあごマスクに対する指導、給食時の黙食などの指導を改めて徹底してまいります。また、教室の換気や消毒等についても、確実に行っていきます。

人権感覚が試される

感染防止にしっかりと努めるのは当然ですが、それでも、誰もが感染する恐れがあるのが新型コロナウイルス感染症です。しかも、デルタ株になってその脅威は何倍にも増加しています。しっかりと感染対策をしていたのに感染してしまった、という方も多くいらっしゃると思います。そういう方々の苦しみに追い打ちをかけるのが、周囲の心ない言動です。感染者や感染者に関わっておられる方々に対する差別や偏見、いじめ、誹謗中傷などは決して許されません。学校では、年間をとおして計画的に人権教育を実施していますが、その目的は、自分と同じように他者の人権も大切にする実践力を身に付けさせることです。今後、校内に感染者が出ることも十分あり得ますが、そのときこそ、私たち一人一人の人権感覚が試されます。苦しんでいる人の側に立てる子供が一人でも多くいてくれることを望みます。